

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
解剖生理学	相川 悠貴	講義	2	栄養士必修	1,2	1,2,3,4	1,2,3,4
授業概要 授業目的	<p>健康管理の手段を学ぶためには、対象となる人体を構築する器官・臓器・組織の構造・機能について理解する必要がある。その理解をもとに、栄養の消化吸收機構、病気の状態、傷病者に対する栄養管理等の発展的な知識を身に付けていくことになる。</p> <p>本講義では、各器官系の基本的な構造・機能についての知識の獲得を目的とする。本講義獲得する知識は、栄養学、応用栄養学、臨床病態学、臨床栄養学、運動保健学等、栄養士関連科目を学ぶ上での土台になる。</p>						
到達目標	<p>①各器官系の構造に関する用語を覚える。 ②各器官系の機能を理解する。</p>						
回	学習内容						
1	人体の構造・器官・組織						
2	細胞・組織の構成						
3	消化器系 1：消化管の構成と嚥下・咀嚼・消化管運動						
4	消化器系 2：消化・吸収						
5	循環器系						
6	中間テスト①と解説・復習						
7	血液系						
8	呼吸器系						
9	腎・尿路系						
10	骨格系、筋肉系						
11	中間テスト②と解説・復習、生殖器系						
12	内分泌系						
13	神経系						
14	感覚器系、免疫系						
15	期末テストと解説・復習						
予習内容 復習内容	<p>予習：教科書の次回学習内容範囲を読んでおく。 復習：授業内で紹介した重要箇所の読み直しを行い、理解と記憶に努める。</p>						
教科書	「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版」 志村二三夫／岡純／山田和彦編、洋土社。						
成績評価	中間テスト 2回 (25%×2)、期末テスト 1回 (50%)。						
実務経験							
その他 特記事項							